

令和4年度 委員会活動報告  
令和4年8月1日～令和5年7月31日

学術委員会

■構成メンバー(◎委員長、○副委員長)

- ◎稲垣 美紀(摂南大学)  
○大江 理英(兵庫県立大学)  
○山内 英樹(東京情報大学)  
久保田 ナナ(関西医科大学附属病院)  
関口 亮子(なな一訪問看護ステーション)  
宮脇 郁子(神戸大学)  
深水 愛子(大阪警察病院)

■活動の概要

2つの事業計画についてそれぞれ役割分担して行った。

1.循環器病に関わる看護職者の知識の向上に資する教育セミナーの開催

1)第41回と第42回の教育セミナーをZOOMウェビナーによるオンラインで開催した。

【第41回概要】

テーマ「どうする!! 心不全患者の栄養療法と塩分・水分管理～エビデンスと高度実践からの再考～」

日時:2023年3月19日(日)13:00～16:05

講演1:近年における心不全患者の栄養療法の考え方

講師:小笹寧子先生 京都大学医学部附属病院 循環器内科

講演2:心不全患者への栄養指導とリハビリテーションのエビデンスと課題

講師:吉内佐和子先生 関西医科大学附属病院 栄養管理部

講演3:塩分・水分管理のエビデンスと課題

講師:鷺田幸一先生 京都大学大学院医学研究科医学専攻博士課程

講演4:心不全患者の暮らしとエビデンスに基づく高度実践

講師:阪口綾香先生 大阪公立大学医学部附属病院 看護部

参加者:会員81名 非会員28名 合計109名

【第42回概要】

テーマ:「若葉マークの看護師が知ると安心!先輩も知っておいてほしい循環器看護」

日時:2023年7月30日(日)13:00～16:00

講演1:ヘルスアセスメントから循環器看護を実践しよう!

講師:児玉 悠希先生 東京情報大学看護学部 基盤看護分野

講演2:看護の現場ですぐに役立つ心電図の見かた、読みかた

講師:南口仁先生 大阪警察病院 循環器内科

講演3:これだけは押さえよう!循環器における検査データの捉え方(血液検査・胸部レントゲン・心エコー)

講師:山中妙先生 兵庫県立尼崎総合医療センター 看護部 外来診療 慢性心不全看護認定看護師

講演4:明日から使ってみよう 学んだ検査の見方を看護に活かそう～事例を通して考えよう～

講師:和田直子先生 日本赤十字社和歌山医療センター 看護部 IT推進室 心不全看護認定看護師

参加者:会員22名 非会員209名 合計231名

2) セミナー内容、セミナー運営方法の検討

参加者数やアンケート調査結果をもとにセミナー内容や運営方法について検討を行った。2回とも参加者の満足度は高かった。第41回は中級レベルであり会員の参加数が多く、第42回は初級レベルであったため、経験年数の浅い非会員の参加が多い状況があった。今後も対象者のニーズに沿ったセミナー内容や配信方法、参加費の設定などを検討していく必要がある。

2. 循環器看護領域の学術的基盤の構築と発展に向けた検討

・循環器看護の定義案をもとに循環器看護のコア・コンピテンシーの作成するために文献検討と複数回の会議を行った。現在は、調査を含めた具体的な実施計画及びWGメンバーについて検討中である。

以上  
(報告者:稲垣美紀)

学会誌編集委員会

■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

◎三浦 英恵(日本赤十字看護大学)

○宮脇 郁子(神戸大学)

大津 美香(弘前大学)

落合 亮太(横浜市立大学)

簗持 知恵子(大阪公立大学)

宮松 直美(滋賀医科大学)

山内 英樹(東京情報大学)

山田 緑(共立女子大学)

■活動の概要

令和4年度は、委員会を3回開催(WEB会議)し、適宜メール審議や情報共有・情報交換を行い、以下の活動を行った。

1.日本循環器看護学会誌の発刊(第18巻1号、第18巻2号)

会議にて、校正、編集作業を行った。18巻2号については、

冊子体としての最終発刊となった。

## 2. 電子投稿・査読システムの運用・評価・改善

電子投稿・査読システムの大きな不具合等は認められなかったが、現状の査読状況に合わせた、編集委員会マニュアルや査読ガイドライン等の見直しの検討を行った。

## 3. 専任査読委員の推薦と決定

専任査読員の任期更新に伴い、学会誌の質の担保を図るため、専任査読委員候補者の追加等を検討した。新たに3名、合計52名の専任査読委員が任命された(令和5年6月現在)。

## 4. 学会誌への投稿促進のための活動

第19回学術集会での委員会企画として「電子カルテデータの二次利用による看護研究・論文執筆までのstep by step」というテーマでセッションを行った。また、第20回学術集会での交流集会の企画内容を検討した。

## 5. 学会誌オンライン化へ向けた移行準備

2月にJ-STAGEへの利用申請手続きを行った。4/6にJ-STAGE 掲載誌として採択の連絡があり、4/17にオンラインISSNを取得し、4/18に最終的な書類を提出した。19巻1号からJ-STAGEへの掲載を予定している。また、オンラインジャーナル J-STAGE への移行に伴う会員への周知を行った(第18巻2号に案内を同封)。

## 6. 投稿規程の改正

学科誌第13巻2号の掲載内容に関する転載許可申請が1件あった。現在の投稿規程では、著作権は本会に帰属し、転載申請や機関リポジトリへの掲載に対応できていないため、投稿規程の改正を行った。また、転載許可申請書や機関リポジトリへの掲載手続きのフローチャートを検討した。その他、投稿者の資格、引用文献表記等の見直しを行う必要性を確認した。

### 政策・診療報酬委員会

#### ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

◎池亀俊美(公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院)

○山田佐登美(川崎医科大学総合医療センター)

伊東紀揮(医療法人社団ゆみの)

竹原 歩(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)

多留ちえみ(神戸大学大学院)

戸沢 智也(獨協医科大学)

西田和美(国立循環器病研究センター)

藤井 利江(兵庫医科大学病院)

水川真理子(神戸市看護大学いちかんダイバーシティ看護開発センター)

山部さおり(訪問看護ステーションひなた)

渡邊裕美子(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)

#### ■活動の概要

##### 1. 委員会活動

①「心不全患者に対する多職種チーム或いは看護師による心不全患者の再入院を予防するための指導管理に関する実態調査」を実施した(令和5年3月)

②上記実態調査をもとに、令和6年の診療報酬改定に向け「心不全ケア診療加算の新設」の提案、ならびに「心不全患者指導管理料の新設」に関する要望書を看保連を通して厚生労働省に提出した(令和5年5月)

③上記②について、厚生労働省保険局医事課担当者よりヒアリングを受けた(令和5年7月。眞嶋理事長、齋藤理事、山田副委員長、看保連事務局小野田氏、池亀がオンラインにて参加した)。追加分析資料を同年7月31日に提出した。

④上記①の結果を2報にわけて、第20回日本循環器看護学会学術集会に発表予定(令和5年9月オンライン)。今後、学会誌に論文投稿予定である。

⑤上記①から④、および看保連委員会作成準備のため、オンラインにて、委員会を開催した(令和4年11月16日、令和5年3月4日、23日、4月11日、18日、5月1日)

##### 2. 渉外活動

①公益社団法人日本看護協会医療政策部 医療制度課から、令和6年度診療報酬改定に向けて、慢性心不全患者の療養支援のエビデンス構築に向けた実証事業を実施する計画とそのために「病院の外來・診療所における看護機能の明確化に係る検討委員会」を設置され、本学会と連携して進めていくことの提案があり、本委員会委員長が委員の一人として参加することとなった。その後、令和5年は、この委員会が「外來機能の強化に関する検討会」へ発展し、引き続き山田佐登美氏が委員長として参加となった(第1回委員会 令和5年6月28日オンラインにて参加)。

②看保連の以下の会議に委員長、副委員長がオンラインにて出席した。

・令和4年12月23日 第1回看護技術検討委員会

・令和5年1月6日 第1回診療報酬ありかた委員会

・令和5年3月1日 第2回診療報酬ありかた委員会

・令和5年3月29日 愛2回看護技術検討委員会

・第16回情報交換会テーマ「医療・介護・福祉政策の動向を能動的に把握する」(千葉大学大学院島田陽子先生)

以上

(報告者:池亀俊美)

### 広報委員会

#### ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

◎鷺田 幸一(兵庫県立尼崎総合医療センター)

○坂本 明子(千葉県立保健医療大学)

山中 源治(日本赤十字看護大学)

戸田 美和子(倉敷中央病院)

中野 直美(慶應義塾大学病院看護部)

富山 美由紀(のぞみハートクリニック)

#### ■活動の概要

##### 1. 学会 Web サイトのリニューアルに関する活動

- ・前年度に引き続き、学会 Web サイトリニューアルに関する活動を行った。サイトマップ・コンテンツ・デザインの見直しを行い、サイトの実用性向上、セキュリティ強化、スマホ・タブレットに対応可能な Web

サイトを、業者と調整を重ね検討し、8月末に新規 Web サイトを公開した。

## 2. 会員の研究・臨床実践活動に関する広報活動推進

- Newsletter vol.15 を発行した。
- Newsletter の閲覧者と Web サイトへのアクセス頻度増加を目的に、年2回の配信から年4回の Topics 配信へと、配信方法・頻度の変更を行なった。
- Web サイトリニューアル後、新たな Newsletter として、Newsletter 研究編が公開できるよう準備を行なった。

以上

(報告者:鷺田 幸一)

### 倫理委員会

#### ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長)

◎宇都宮明美(関西医科大学)

○竹原歩(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)

加賀谷聡子(杏林大学)

松本幸枝(亀田医療大学)

鷺田幸一(兵庫県立尼崎総合医療センター)

#### ■活動の概要

1件の倫理審査申請があり、簡易審査として審議し、承認とした。

以上

(報告者:宇都宮明美)

### 国内交流委員会

#### ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長)

◎小泉 雅子(東京女子医科大学)

○竹原 歩 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター)

山中 源治(日本赤十字看護大学)

角口亜希子(榊原記念病院)

富山美由紀(のぞみハートクリニック)

#### ■活動の概要

1.本法人の国内の循環器看護の関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流をはかるため、メール会議を4回開催し、下記の関連学会とのジョイントシンポジウムの開催の承認、座長の推薦をした。また、関連団体からの当学会の名称利用、協力依頼等についても本会の承認を得て実施した。

#### ●開催済み

①第60回日本人工臓器学会大会において、ジョイントシンポジウム「DT時代の在宅医療について考える」(座長:前田靖子氏、演者:富山美由紀氏、岡田悦代氏)が現地で開催された(2022年11月5日、於松山)。

②第19回日本循環器看護学会学術集会において、以下の2つの共催シンポジウムが現地で開催された(2022年10月1~2日、於枚方)。⑦日本糖尿病教育・看護学会との「糖尿病慢性合併症・大血管障害をもつ患者の看護」(座長:村内千代氏、演者:大串晃弘氏、山崎優介氏)、⑧日本フットケア・足

病変医学会との「動脈閉塞性疾患による下肢血流障害のある患者の看護」(座長:藤木悠氏、演者:森小津恵氏)。

③第87回日本循環器学会学術集会において、ジョイントシンポジウム「循環器領域の特定行為研修修了者に対する期待」(座長に吉田俊子氏)が現地で開催された(2023年3月11日、於福岡)。

④第29回日本移植関連学会協議会がWEBで開催された(2023年4月1日)、本学会の本委員会から山中源治委員が出席した。

⑤第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会において、合同企画ジョイントシンポジウム「デバイス管理と心臓リハビリテーション~看護師の役割」(座長:池亀俊美氏、演者:新田敦子氏、高山直子氏)が現地で開催された(2023年7月15日、於横浜)。

#### ●開催予定

①第61回日本人工臓器学会大会において、ジョイントシンポジウム「高齢化社会における循環器治療の問題点~意思決定支援のあり方について~」(座長:中島千春氏、演者:岡田悦代氏、田中奈緒子氏を推薦・承認済み)が現地で開催の予定である(2023年11月9~11日、於東京)。

②第20回日本循環器看護学会学術集会において、以下の4つの共同シンポジウムがWEBで開催の予定である(2023年9月16~17日、於東京)。なお、本学会からの座長および演者についてはすべて推薦・承認済み。⑦日本不整脈心電学会との「医療と生活をつなぐ:不整脈患者への看護の専門性」(座長:齊藤奈緒氏、演者:石原真由美氏、富山美由紀氏)、⑧日本エンドオブライフケア学会との「心不全患者のエンドオブライフケア」(座長:坂本明子氏、演者:堀川由加里氏)、⑨日本人工臓器学会との「補助人工心臓の現在と未来」(座長:山中源治氏、演者:小澤敬子氏、久保田香氏)、⑩心友会との「人と人/思いをつなぐ:わたしたちの意思決定」(座長:三浦稚郁子氏、座長兼演者:落合亮太氏)。

#### ●名称使用およびホームページ掲載による周知済み

①日本循環器病予防学会第34回日本循環器病予防セミナー(2022年8月6~7日、8月27~28日)における名称使用、および本学会ホームページ掲載による周知依頼について、本会の承認を得て実施した。

②第87回日本循環器学会学術集会(2023年3月10~12日)における名称使用、および本学会ホームページ掲載による周知依頼について、本会の承認を得て実施した。

以上

(報告者:小泉雅子)

### 国際交流委員会

#### ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長)

◎眞茅 みゆき(北里大学)

○落合 亮太(横浜市立大学)

岡田 明子(北里大学)

加藤 尚子(Linköping University)

辰巳 友佳子(帝京大学)

西山 知佳(京都大学)

### ■活動の概要

本年度新設された委員会のため、規定の見直し、今後の活動内容の方針について検討を行った。今後の活動内容として、学会ホームページへの国際学会参加紀の寄稿、学術集会での国際交流に関するプログラムの企画などが検討された。

以上  
(報告者:眞茅 みゆき)

### 選挙管理委員会

#### ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長)

◎山中源治(日本赤十字看護大学)  
池亀俊美(榊原記念病院)  
大江理英(兵庫県立大学)  
小泉雅子(東京女子医科大学)  
正垣淳子(神戸大学大学院)  
前田靖子(名古屋ハートセンター)

#### ■活動の概要

令和6年春の第6期選挙(代議員および理事・監事選出)に向け以下の準備を行った。  
・代議員選挙および理事・監事選挙のスケジュールを検討し、理事会で承認を得た。  
・WEB投票率向上を目的に、選挙啓発ポスターを作成し学会員へ発送した。また第20回日本循環器看護学会学術集会の幕間広告を作成した。

以上  
(報告者:山中 源治)

### 将来構想委員会

#### ■構成メンバー(◎委員長、五十音順)

◎旗持知恵子(大阪公立大学)  
伊東紀揮(ゆみのハートクリニック)  
落合亮太(横浜市立大学)  
齊藤奈緒(宮城大学)  
正垣淳子(神戸大学)  
戸沢智也(獨協医科大学)

#### ■活動の概要

必要時オブザーバーである眞嶋理事長、吉田監事に助言を求め、4回の委員会の開催に加え、数回のメール審議を行い、本委員会の活動方針、規約、活動計画を立案し、実施した。

##### 1. 活動方針の決定

当法人の将来構想に関する事業の検討、組織運営に関わるニーズの把握、活性化に向けた事業の検討および理事会への提言、将来構想に関わる事業についての関連委員会との連携・調整などを方針として、臨時委員会として活動した。

##### 2. 「循環器病対策推進基本計画」に関わる各位委員会の

#### 活動の調査と今後の活動の検討

循環器医療に関わる社会的動向をふまえ、本会の使命を果たすための課題を検討する上で「循環器病対策推進基本計画」に関わる各位委員会のこれまでの活動、今後の活動計画について調査を実施し、結果を理事会に報告した。理事会での今後の方針をふまえ、今後の本会の課題についても検討した。

以上  
(報告者:旗持知恵子)

### 総務委員会

#### ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

◎齊藤 奈緒(宮城大学)  
○若林 留美(東京女子医科大学病院)  
宇都宮 明美(関西医科大学)  
林 亜希子(北里大学病院)

#### ■活動の概要

下記について、メール会議および3回のweb会議を実施した。

- 令和3年度会員ニーズ調査に基づく本会事業見直しに伴う委員会組織・業務の整理および各委員会の活動支援、調整  
役員改選による本会事業組織の見直しに伴い、臨時委員会:将来構想委員会の設置準備・調整を行った。
- 理事会、社員総会、会員総会の運営補助  
令和4年度理事会(対面およびweb)の準備・運営、令和5年度第1回定時社員総会、理事会の準備を行った。
- 会員獲得・会員情報管理に関する事業  
入退会者管理、各種費用支払いおよび令和4年度中間予算執行状況確認を行った。  
会員情報管理については、将来構想委員会の検討と連動して、循環器看護の質向上や社会貢献を担う様々な事業に携わる人材発掘のためのデータベースづくりを行う計画・準備を行った。(令和5年度に実施予定)
- 規定類の評価を実施した。今年度は改訂なし。
- 若手研究者の研究助成事業の実施・評価  
令和3年度助成者の成果発表状況のモニタリング、令和4年度助成者への助成期間終了後の手続きの連絡、令和5年度助成者の審査委員会を立上げ、1件承認を得た。
- その他  
医療事故調査・支援センターへ個別調査部会員を2件派遣している。日本看護系学会協議会、日本看護協会による調査等に協力あるいは担当員を会員から派遣している。

以上  
(報告者 齊藤奈緒)